

# 業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2026. 5. 15

No. 756

## 2026年夏季手当要求書提出

### 基準内賃金×2.3ヶ月を要求する

「春闘時、期末手当4.8ヶ月以上（夏季2.3ヶ月以上・年末2.5ヶ月以上）を要求しているため」

#### 「要求書」

2025年度決算は、連結経常利益24億となり昨年度の連結経常利益（14億）から10億増となりましたが、当初の事業計画値（74億）からは△50億となり厳しい結果となりました。

2026年度の業績見通しでは、連結経常利益50億としており、この計画値を必ず達成するためにも、社内全体の士気を上げ、お客様に対し魅力ある商品を提供していかねばなりません。また、頻発する輸送障害や自然災害が起きる中においても、国からの指定公共機関の責務として、社員は昼夜を問わず日々、安全安定輸送に努めていることを会社は強く認識しなければなりません。

期末手当・春闘においては、毎年のように低額回答が続き、他企業と比べれば賃金改善が遅れていることは明らかであり、退職年齢引き上げ等、人事制度一部修正を実施しましたが、若い社員の心には響いておらず、若い世代の離職がさらに進むのではないかと危惧するところです。将来を担う有望な社員の離職や優秀な人材を確保出来ないことは、JR貨物グループにとって大きな損失となり、近い将来、労働者不足により列車を定期的に運行出来ないという危機的状況に陥るかもしれません。

また、世界情勢の先行きが不透明により、さらなる物価上昇が懸念され、安定的な生活を送るためにも、大幅な賃金改善を積極的に実行しなければなりません。収入が上がり、会社の経営状況が厳しいことは理解しますが、社員の生活も相当厳しいことを理解していただき、また、我が組織はJR貨物の経営を常に考え、JR貨物における政策課題解決に向けJR連合と共に取り組んでいることもご理解していただき、厳しい会社の状況を考慮しても私達の要求に応えられる体力は十分にあると認識します。

以上を踏まえ、JR貨物グループブランドイメージをさらに高めていくためには、賃金改善を押し進め、社内全体の士気を上げることが必要不可欠であることを理解していただき満額回答を強く求めます。

以上